

Hitachi Migration Service

# マイグレーション サービス

既存資産を生かしつつ 新しいプラットフォームへの移行を実施

## 日立のマイグレーションサービスが課題を解決します

- 現行システムのハードウェア、プラットフォームのEOS\*対応が必要
- ホスト、オフコンなどの現行システムの有識者、技術者が不足
- エンハンスの繰り返しでソースコードが肥大化し維持メンテが困難
- ランニングコストの削減、ITコストの適正化に十分対応できていない

# 効率的なマイグレーションを実現する4つのステップ

レガシーシステムのマイグレーションにより、現行システムの課題である、老朽化、技術者不足、高コスト、ブラックボックス化などの課題が解決されます。

# 日立のマイグレーションサービスは、 「4つのステップ」で効率的なマイグレーションをサポートします。

STEP 1

移行性分析

プログラム、JCL\*などのプログラムの内容まで踏み込んで移行可否や代替案を検討します。 ツールを適用したコンバージョンや新システムではサポートされていない言語部分の代替 方式等も検討します。

STEP 2

移行方式設計

移行性分析の結果を踏まえ、ソースコード、ジョブ定義、画面定義など、資産の種類に応じて最適な移行方式を検討します。

コンバージョンツールなどの変換ツールの設計、改修も検討します。

STEP 3

パイロット移行

移行観点を網羅する資産を抽出してパイロット移行することで、問題点や改善点を抽出し、 移行手順や変換ツールにフィードバックします。これにより資産移行本番における手戻り を防ぎます。

STEP

資産移行

パイロット移行の結果をもとに資産を移行します。 確実なマイグレーションを支援します。

FINISH

新システム

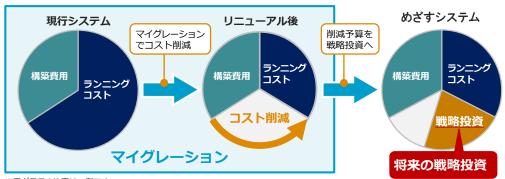
\*EOS:End Of Supportの略。製品などのサポート終了の意味。
\*JCL: Job Control Languageの略。ジョブ制御言語。

## マイグレーションのメリット



#### 将来の戦略投資へ

マイグレーションにより、ランニングコストを削減し、将来の戦略投資につなげることができます。



※円グラフの比率は一例です。



### 変化に強いシステムへ

マイグレーションにより、変化に強いシステムに生まれ変わることができます。世の中の流れや変化に対応しやすくなり、結果としてビジネススピードがアップします。

## マイグレーションサービスの特長

### ■長年の実績で培った変換ツール

日立は長年のマイグレーション実績で改良してきた変換ツールを保有しています。その変換ツールをお客さまのシステムの特徴に合わせてカスタマイズして資産を変換します。このため、効率よく確実なマイグレーションが実施できます。

### 日立のALMサービス\*との組み合わせで、さらに効率良く、リスクを抑えて

レガシーシステムでは資産の肥大化や複雑化により、マイグレーションに踏み切れない場合があります。 事前に日立のALMサービスを利用すると、資産の棚卸による移行対象のスリム化、現行仕様の可視化が可能です。 このため、効率良く低リスクでマイグレーションを実施できます。

\*ALMサービス:Application Lifecycle Management サービスの略。現行資産を可視化することで、システムの保守効率向上をサポートします。



# 導入実績

業種を問わず、小規模から大規模システムまで多数の実績があります。他社プラットフォームからのマイグレーションやホストからオープンプラットフォームへのマイグレーションの実績があります。

# サービス費用

対象となるシステムの資産の種類や規模、成果物などにより個別見積もりとなります。 サービスご利用をご検討の場合はお問い合わせください。

●サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### お問い合わせは下記へ

■日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト http://www.hitachi.co.jp/appsvdiv/

# ● 株式会社 日立製作所 アプリケーションサービス事業部